

# みんなで地域の災害を考えるくセルフウェザーゲーム

## ～ 大野市主催の防災ワークショップに参加しました。～

九頭竜川ダム統合管理事務所

大野市が主催する防災ワークショップが、約50名の市民が参加して10月15日(土)に大野市B&G海洋センターで開催されました。

大野市が京都大学防災研究所中北研究室・矢守研究室と協力して取り組んでいるもので、地域住民と防災について考えるセルフウェザーゲームや避難所でのルール作りに関する訓練や講習が行われました。この取組は、平成26・27年度に実施された地元小学生による防災マップづくりに続くものです。

### 大野市B&G海洋センター避難所開設訓練



平成28年10月15日 京都大学防災研究所 矢守研究室

### 矢守研究室

#### 練習問題

自分にとって  
大切な人を設定

#### 人物カード

人物： 一人暮らしのおじちゃん  
家族： 10km離れた所に息子家族が住んでいる  
住居： 2階建て、佐開の山の傍  
その他： 足が悪い



セルフウェザー

セルフウェザーゲームとは、気象情報から自分の大切な人(家族など)にどのような危機が迫っているかを感じ、どのような段階で安全な場所に避難した方が良いかを判断するゲームです。ゲームを通じて、気象情報と自身の関係について考え、気象情報がどのような危機を伝えたいかを確認することができ、自分が下した判断によって、気象情報をどのようにとらえているか自覚することができます。

ゲームは、市内各地区から参加した住民が5～6人のグループに分かれて、気象情報とそれぞれの地域で発生が予想される災害との関連性から、始めは最初は個人が感じた避難するレベルを判断し、その後のグループ討議の後にもう一度自分が思う避難レベルを提示する方法で進み、参加者の防災意識の向上に役立っているようでした。

講師から、自分が危険と感じる気象情報のレベルより低いレベルで大切な人に避難が必要と考える人は、気象情報を甘く見ている傾向があると説明を受け、皆さん納得の様子でした。

ゲームに参加して、地域住民が日頃から災害や防災対策について、どのように考えておられるかを身近に感じることができ、有意義な訓練でした。

### 問題1： 気象情報カード(洪水編：稲郷地区編)

安全な場所に避難した方がいいと考えるレベルを選んでください

レベル5	清滝川が国道157号線橋上流の各地であふれています。稲郷地区は全地域で床上・床下浸水のおそれがあります。道路は各地で冠水し、水田は一面水没しているので、外出することは危ないです。
レベル4	清滝川がいつあふれてもおかしくない状況です。あふれたら、稲郷地区のほとんどが床下床上浸水し、道路は一部で冠水するでしょう。
レベル3	清滝川が増水し、残り数mであふれる可能性があります。さらに雨が降るようなので、今後の降水に注意し、不要不急の外出をしないでください。テレビのデータ放送等で情報を確認しましょう。
レベル2	清滝川の水位が上がっています。水田に雨水がたまりはじめました。水路の水位も上がりはじめました。川に近づかないようしてください。
レベル1	清滝川がいつもより増水しています。水量が増えないかなど、注意が必要です。

大切な人が安全な場所に避難する必要があると思うレベルは？



### 【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局  
九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021  
福井県大野市中野29-28  
TEL (0779)66-5300